第1回（仮称）地域活性化発信交流拠点整備計画策定検討委員会 議事録

1. 日 時：令和7年7月1日（火）午前10時30分 ～ 午前11時30分
2. 場 所：三芳町総合体育館3階小会議室2
3. 出席者：八木信行委員、伊藤徹哉委員、宮田佳律委員、有村誠委員、鈴木徹委員
岡崎優（オブザーバー）、中島豪誠（オブザーバー）
事務局 三芳町 神森総合調整幹 道路交通課 若林課長
古寺主幹 金子主事
受託事業者 三井共同建設コンサルタント株式会社
4. 傍聴の可否について
検討委員会の傍聴を可とする。傍聴者3名
5. 議 事：（1）（仮称）地域活性化発信交流拠点基本計画について
（2）整備の方向性について
（3）検討内容について
（4）その他
6. 議事内容
【議事（1）について】
（仮称）地域活性化発信交流拠点基本計画について、説明し、質疑や意見の有無を確認。
 - ・敷地面積について、「一体型整備」では三芳PA隣接の4.5haの敷地を利用した拠点の計画とあるが、「分担型整備」の場合、三芳SIC隣接拠点（2～2.5ha）と上富地域拠点（1.1ha）を合わせても4.5haとならないのはなぜか。
→分担型整備では、各拠点到機能分散させ、既存施設の機能利用を想定しているため、新設する調整池の必要面積等が縮小している。そのため総面積が4.5haとならない。
【議事（2）について】
拠点整備の方向性を説明し、質疑や意見の有無を確認。
 - ・事業費について、「分担型整備」とすることで「一体型整備」に比べ事業費が縮減している。これは三芳SIC隣接拠点の敷地面積縮小による用地買収費の縮減が理由となるのか。また、三芳SIC隣接拠点の敷地面積縮小により、伝統農法が受け継がれる農地を今後も利活用できるように残すことが望ましい。
 - ・距離の離れた2拠点を運営している事例を紹介できるとイメージが湧きやすい。
 - ・本計画では2拠点の連携が重要となる。上富小学校再編計画の動向を注視しつつ、今年度の整備計画を検討する際には上富地域拠点とのアクセス性について検討をしていく必要がある。
 - ・「分担型整備」の場合、2拠点を合わせて地域活性化発信交流拠点とするのか。三芳SIC隣接拠点のみを道の駅として位置づけるのか。
→現時点では、三芳SIC隣接拠点のみを道の駅とすることを想定している。

- ・「分担型整備」について、各拠点の機能が重複しないことや立地性、特徴、強みを活かし、連携した施設とすることが重要と考える。

【議事（3）について】

（仮称）地域活性化発信交流拠点整備計画策定検討委員会の検討項目について説明し、質疑や意見の有無を確認。

- ・第4回検討委員会の検討項目について、「整備効果」とあるが、整備効果について経済的な効果だけでなく、社会的な効果（例：町民が三芳町を誇りに思う。外部の人が三芳町を魅力に感じる等）も示せると良い。

【議事（4）について】

- ・第2回検討委員会の日程について、現時点では令和7年8月27日を予定している。

以上